

市町村名：奥州市
 学校名：奥州市立田原中学校
 担当者名：中嶋 敦

学校における特色ある食育実践例の紹介

教科名等	総合的な学習の時間				
単元名等	食物を育て、収穫し、食べる喜びを体感しよう				
取組学年	全学年	取組時期	4月～11月	毎年実施の有無	有
取組内容	<p>1 椎茸栽培</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月下旬、「ほだ木」に穴をあけて植菌作業を行い、校舎の裏山にある学校林にほだ木を運ぶ。（収穫は2年後） ・ 春と秋2回、2年前に植菌した「ほだ木」から椎茸を収穫する。 ・ 収穫した椎茸を地区民が集まる運動会等で販売をして、生徒活動費の一部にあてている。 ・ 収穫した椎茸の一部を乾燥椎茸にする。 ・ 定期的に学校林に行き、椎茸の生育状況を観察する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学校林を保有している特色を生かして、25年以上前から椎茸栽培を行っている。最近、隣接する小学生と一緒に作業を行っている。生徒たちは、田原中学校の伝統ととらえ、生き生きと活動している。</p> </div> <p>2 野菜栽培</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月、全員所属している勤労生産委員会で今年植える野菜の種類を決定し、栽培計画を立てる。 ・ 栽培計画に従って苗植え、草取り、水やり、収穫を行う。今年度は、トマト、ジャガイモ、枝豆、キャベツ、大根を植えている。トマトや枝豆は収穫を終えて、昼食時間に全員でおいしくいただいた。 ・ 11月、自分たちで収穫した食材を取り入れたメニューを考え、調理をして食べる「収穫祭」を予定している。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>野菜の栽培は今年で2年目である。ほとんどの生徒は自宅に畑をもっているが農作業の経験はあまりないので、新鮮な気持ちで作業を行っている。収穫祭の実施は、今年度初めてである。自分たちが作ったものを食べる喜びをぜひ味わってほしいと考えている。</p> </div>				
本取組を行っている理由	<p>学校林の保有、畑の確保、全校生徒13名の小規模校、椎茸栽培および農作業を熟知している学校職員の存在という学校の特色と好条件がそろっていることに着目し、このような取組を行っている。</p> <p>知識だけでなく、食物を育て、収穫し、食べるという体験活動を通して食物を大切に作る心、感謝する心を育てたいと考えている。</p>				